

## ネルソン・マンデラ平和サミット政治宣言 (概要)

- 我々，国家及び政府の長及び代表は，2018年9月24日，ニューヨークの国連本部において，ネルソン・マンデラ氏の生誕100周年を記念して，世界平和を検討するため，ネルソン・マンデラ平和サミットで会合する。（パラ1）
- ネルソン・マンデラ氏の謙遜・寛容・慈悲の資質，彼の価値観及び慈悲の献身に敬意を表す。（パラ2）
- 公正，平和，豊かで，包摂的かつ公平な世界を構築するための努力を倍増すること，及び，相互尊重，寛容，理解及び和解を示すことにコミットする。（パラ3）
- 国連の創設以来世界が著しく変化したことを認識し，我々，今日の世界の指導者達は，恐怖と欠乏から自由な世界を形成するため，その言動において，これまで以上に特別な責任を担う。（パラ4）
- 経済，社会及び環境の3つの側面において持続可能な開発を達成することに引き続きコミットする。（パラ8）
- 平和と安全の維持と促進のための全ての取組において，女性の平等な参画及び完全な関与，並びに，意味のある若者の参画の重要性を強調しつつ，平和，公正で，包摂的かつ無差別な社会の促進のため行動することを決意する。（パラ10）
- とりわけ武力紛争下の子ども達の保護，権利及び福祉を確保することを決意する。（パラ12）
- 紛争は予防外交よりもあらゆる面において損失が大きいという議論の余地のない事実を認識する。（パラ14）

- 武力紛争の当事者に対し、紛争サイクルを終わらせ、再発を防止するための具体的な措置を直ちにとるよう奨励する。（パラ 15）
- 紛争予防、根本原因への対処、法の支配の強化を通じて、「平和の持続」への包括的アプローチの重要性を強調する。（パラ 19）
- 核兵器計画を一方的に廃棄した南アフリカが示した例を歓迎し、核兵器廃絶を支持したネルソン・マンデラ氏の確固たる願いを想起する。（パラ 22）
- 2019年から2028年を「ネルソン・マンデラ平和の10年」とする。全ての加盟国に対し、この10年間で、国際の平和と安全、開発、人権を追求するための努力を倍増することを要請する。（パラ 23-a）
- 調停に関する国連ハイレベル諮問委員会の設置を歓迎し、周旋の活用等を通じた、国際の平和と安全の維持及び武力紛争の予防のための更なる努力と貢献を奨励する。（パラ 23-b）
- 国連ネルソン・ホリシャーシャ・マンデラ賞と国連人権賞の目的を再確認し、総会議長及び事務総長がこれらの賞の認知度を高めるために協働することを奨励する。（パラ 23-c）
- 国連に対し、その意思決定プロセスにおいて、世代間対話等を通じ、現在及び将来の世代のニーズを体系的に検討するための手段を模索するよう勧告する。（パラ 23-d）

（了）